

マタイ 37

「来なさい」と 主が命じられている

マタイ福音書14章22～36節

湖の上を歩くイエス

Shikaoichurch.com

アウトライン

0. イントロダクション

I. 湖を上を歩くメシア 14:22～36

II. まとめと適用

「来なさい」と

主が命じられている





0. イントロダクション

カペナウムの再現図

メシアの生涯

宣教 → 拒絶 → 弟子訓練 → 十字架へ

イスラエル
(指導者)



バプテスマ

荒野の誘惑

弟子の召命

宣教開始

メシア的奇跡

安息日論争

ベルゼブル論争

たとえば

五千人の食事

五湖の上を

ペトロの信仰告白

山上の変容

最後の弟子訓練

エルサレム入城

最後の晩餐

紀元70年
エルサレム陥落



メシアの活動は、弟子訓練に移行!!

- 主イエスは、**教会の礎**を築き始められている
 - ➡ 訓練された使徒たちが、**教会の土台に!!**
- 教えと奇跡も、弟子たちの訓練のために実行。
 - ➡ 弟子たちだけに解説される、**たとえ話**
 - ➡ 弟子たちの前で実行される、**奇跡**



Ⅰ．湖の上を歩くメシア

マタイ福音書14:22～34

本編 メシア一人で マタイ14:22～23

それからすぐに*、イエスは弟子たちを舟に乗り込ませて、自分より先に向こう岸に向かわせ、その間に群衆を解散させられた。

群衆を解散させてから、イエスは祈るために一人で山に登られた*。夕方になっても一人でそこにおられた。

*5千人の供食の後。人々はイエスを王に担ぎ上げようとした(ヨハネ6:15)

*ヨハネの訃報の後、一人になろうとしたが、五千人の群衆が離れず…やっと一人に



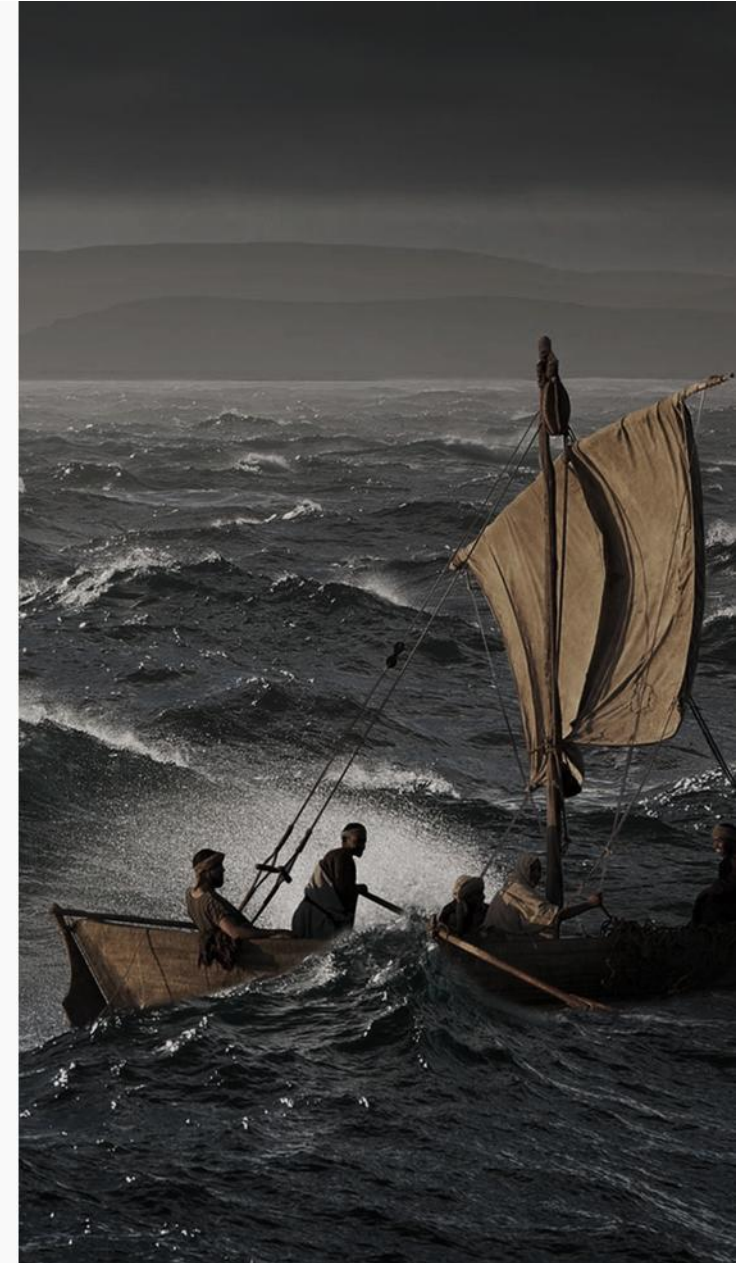
本編

一夜が過ぎ マタイ14:24

舟はすでに陸から何スタディオン*も離れていて、向かい風だったので波に悩まされていた。

*1スタディオン…約185m

■一晩中苦闘しても進めなかった弟子たち。



本編 湖上のイエス マタイ14:25～26

夜明けが近づいたころ*、イエスは湖の上を歩いて弟子たちのところに来られた。

イエスが湖の上を歩いておられるのを見た弟子たちは「あれは幽霊だ*」と言っておびえ、恐ろしさのあまり叫んだ。

＊第四刻(午前3～6時)

＊幽霊(ファンタスマ)…この場面だけ

➡聖書は明確に幽霊の存在を否定

■恐怖に捕らわれ、迷信に惑わされて…。



並行記事 イエスの視点 マルコ6:48

イエスは、弟子たちが向かい風のために漕ぎあぐねているのを見て*、夜明けが近づいたころ、湖の上を歩いて彼らのところへ行かれた。そばを通り過ぎるおつもりであった*。

- 弟子たちの様子を見ていたイエス。
しかし、通り過ぎるつもりだった。



本編 主の呼びかけ マタイ14:27

イエスはすぐに*彼らに話しかけ、「しっかりしなさい*。わたした。恐れることはない」と言われた。

*「まっすぐに(マタイ3:3)」

*「勇気を出しなさい(ヨハ16:33,使23:11)」

■「気を確かに持て!! わたした、恐れるな」

…断固とした口調で、落ち着いて、
真っ直ぐに伝えられたか。



本編 ペテロの願い マタイ14:28

するとペテロが答えて、「主よ。あなたでしたら*、私に命じて*、水の上を歩いてあなたのところに行かせてください」と言った。

*「もし、あなたでしたら(三版)」

…原文には、「if(もし)」にあたる語が
主要な英語訳にも「if」が

*主の命令が大前提…主が命じられれば可能

■「本当にイエス様なら証明してください」

「私を歩かせて行かせてください。」



本編 信仰と不信仰 マタイ14:29～30

イエスは「来なさい*」と言われた。そこでペテロは舟から出て、水の上を歩いてイエスの方に行った。

ところが強風を見て怖くなり、沈みかけたので、「主よ、助けてください」と叫んだ。

＊ペテロは主の命令を受けて、歩み出した。

■信仰によって一步を踏み出したが、
不信仰に陥って沈んでしまった。



本編 神の子 マタイ14:31～33

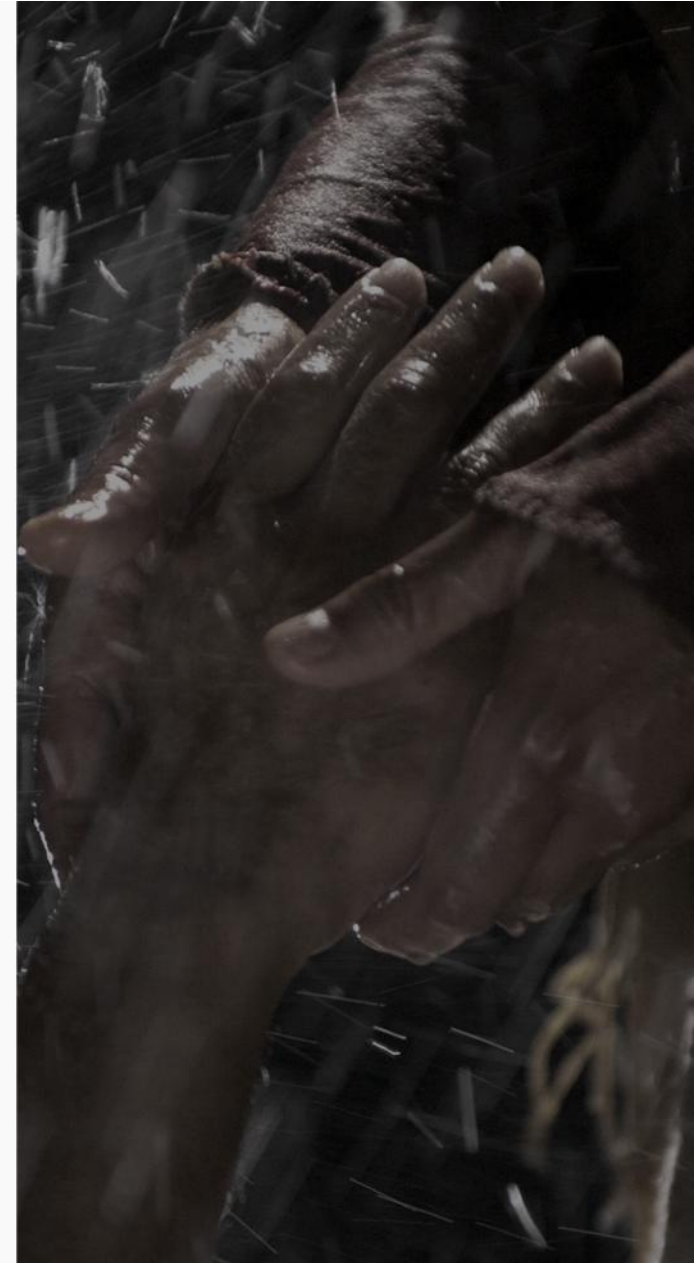
イエスはすぐに手を伸ばし、彼をつかんで言われた。「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか*」
そして二人が舟に乗り込むと、風はやんだ。
舟の中にいた弟子たちは「まことに、あなたは神の子です*」と言って、イエスを礼拝した*。

*主を疑うことが、不信仰

*神の子…神と同じ性質、等しい者 「雷の子」

「あなたは神の子です」…弟子たちの初の告白

*明確にイエスが礼拝の対象に!!



並行記事 頑なな心で マルコ6:51～52

そして、彼らのいる舟に乗り込まれると、風はやんだ。弟子たちは心の中で非常に驚いた。彼らはパンのことを理解せず、その心が頑なになっていた*からである。

■ あなたは神の子です、と礼拝した弟子たち。しかし、本質は理解せず、心は頑な。



本編 ゲネサレで マタイ14:34

それから彼らは湖を渡り、**ゲネサレの地***に着いた。

その地の人々はイエスだと気がついて、周辺の地域にくまなく知らせた。そこで人々は病人をみなイエスのもとに連れて来て、せめて、**衣の房***にでもさわらせてやってください、とイエスに懇願した。そして、さわった人たちはみな癒やされた。

*ガリラヤ湖の別称。カペナウムの西方？

一晩かかって進んだのは、ほんの数km

*ツィツィヨット…律法を象徴(民15:38)





Ⅱ. まとめと適用

「来なさい」という主の命令

まとめ

イスラエルの奇跡と メシアの奇跡

■ イスラエル12部族が体験した主の奇跡

★ 葦の海を歩いてエジプト脱出

★ せき止められたヨルダン川を渡って約束の地へ

■ 十二弟子が体験したメシアの奇跡

★ 湖の上を歩いて弟子たちのもとへ

イエスが示されたのは、イスラエルの神の力と権威

「舟の中にいた弟子たちは『まことに、あなたは神の子です』と言って、**イエスを礼拝**した。マタイ14:33」

- 召命の時、ペテロが恐れひれ伏したのとは違い、はっきり、**神の子イエスを礼拝**した。
- パンの出来事も理解しておらず、心は頑な(マコ6:52)
- 「イエス＝神の子＝神」という理解がなかったら、偶像礼拝にもなりかねない!? 危うさが!!

まとめ

湖に踏み出したペテロの信仰

- 動機は、「もしあなたでしたら」 → しるしを求めた
- 「命じて」行かせてください → 主の命令を求めた
「来なさい」 → 命令に応じて歩み出した
- 主が命じられたことは、その通りになる。
使徒たちは、派遣先で、多くの御業を身をもって実感。

主の命令は、必ずなる

まとめ

すぐに沈んだペテロの不信仰

「ところが強風を見て怖くなり、沈みかけたので、
『主よ、助けてください』と叫んだ。マタイ14:30」

- ただ主の命令に従っている時は問題なかった。
➡強風を見て、心が恐怖に捕らわれてしまった。

不信仰とは、主の御言葉から離れてしまうこと

「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか。マタイ14:31」

■ 無茶ぶり？ ペテロには主を信頼すべき根拠が!!

➡ 数多くの奇跡を目の当たりに。湖を鎮める奇跡も

➡ 派遣先で自ら体験した奇跡。満たされた必要

➡ 段階を追って、成長させられてきた。

■ 応答の責任は、知らされるほど、重くなる

➡ 正しく聖書を学ぶほど、応答の責任も増している

- 水(海)は、聖書で**裁き**を示す。
湖上を歩くメシアが示すのは、**裁き主**としての姿。
- 救いは、主の命令に**従うかどうか**に、かかっている。
➡最も重要な命令は、「福音を信じなさい」ということ
- 信仰の成長は、主の命令に**従い続けるかどうか**。
➡心がそれた瞬間、沈んでしまう。信仰の確信の脆さ
主に助けを求めれば、再び引きあげてくださる。

信仰の道程における 試練と助け

■裁きと試練 | コリ10:11～13

これらのこと(聖書の裁き)が彼らに起こったのは、戒めのためであり、それが書かれたのは、世の終わりに臨んでいる私たちへの教訓とするためです。

ですから、立っていると思う者は、倒れないように気をつけなさい。

あなたがたが経験した試練はみな、人の知らないものではありません。神は真実な方です。あなたがたを耐えられない試練にあわせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えていてくださいます。

★ 「来なさい」という主の命令 ★

- 段階的に強まる試練の中、ただ主の命令に従うこと。
「来なさい」と、主が命じられた道は、必ず守られる。
道を逸れてしまったら、すぐに立ち返ればいいだけだ。
- 苦難の中に陥るほど、ただ主を仰ぎ見よう。
苦痛にあえぐのは、脱ぎ捨てるべき古い死んだ自分。
聖霊による満たし。主の支配だけを求めていこう。

「来なさい」という主の命令に 応え続けていこう

「^{てん}天の^{とう}お父さま。^{わたし}私たちの^{つみ}罪をゆるしてください。

^{わたし}私たちは、^{かみ}神の^こみ子、^{しゅ}主イエス・キリストが、

①^{わたし}私たちの^{つみ}罪を^{あがな}贖うために^{じゅうじか}十字架で^し死なれ、

②^{はか}墓に^{ほうむ}葬られ、

③^{みっかめ}三日目に^{ふっかつ}復活されたこと、^{しん}を信じます。

^{わたし}私たちは、^{しゅ}主イエスの^{みち}道に、「^き来なさい」と^{まね}招かれています。

^{しゅ}主の^{みことば}御言葉に^き聞き^{したが}従って、^{あゆ}歩み^{つづ}続けていきますように。

^{あやま}過ちに^{きづか}気付かされたら、^くすぐに^{あらた}悔い改めて^た立ち^{かえ}返ります。

^{せいれい}ご聖霊によって^み満たしてください。^{しゅ}主の^{しめい}使命に^{もち}用いてください。

^{しゅ}主イエス・キリストの^なみ名によって^{いの}祈ります。アーメン」